

至誠館大学

科目名	CSR論			コード		
英語表記	Concept of CSR and Current Situation in Japan					
担当教員名	大 蔭 勝 威			年度	平成28年度	
基準年次	2年次	開講期	後期	単位数	2	
授業形態	講義	授業形式		履修形態	選択	
授業概要						
CSR(企業の社会的責任)は、現代社会だけでなく、企業と社会との関係はいつの時代にもあった。利潤と倫理性の調和は可能か。矛盾する時には、どちらを優先するのか。これらの根本問題について、CSRに関する知識は教えるが、それは会社に入ってから、自分で考えるための、手がかりに過ぎない。この意味で、この講義は、実情を「考え」「書く」ことを取り入れたものにする。受講生の状況を見ながら、題材を変え、やりかたを改善しながら進めるつもりである。						
到達目標						
この種の講義は、自分で考えることが大切である。さまざまな企業倫理の事例を、ただ学ぶだけでなく、そこにひそむ倫理性を自分の頭で考えなければ、この講義を受けたことにはならない。倫理に絶対的な答えがあるのではなく、社会がそれを受け入れることができるか否かに、その考えの成否がかかっている。企業倫理の事例の分析の仕方が、少しでも深くなれば、一応の目標に到達したことになる。						
授業計画						
第1回	「企業の社会的責任とは」					
第2回	コーポレートガバナンス(企業統治)④「形態」					
第3回	コーポレートガバナンス(企業統治)⑤「運用」					
第4回	企業コンプライアンス(法令遵守)					
第5回	2～4回の実例検証④					
第6回	2～4回の実例検証⑤					
第7回	企業犯罪					
第8回	7回目の実例検証④					
第9回	7回目の実例検証⑤					
第10回	CSR企業ランキング					
第11回	ブラック企業					
第12回	PR&IR					
第13回	社会的責任投資					
第14回	メセナ活動					
第15回	授業との総括と試験について					
評価方法と基準		評価項目と割合(%)				
出席(授業態度)と試験で50%ずつが基本		出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			50		50	
授業外学習		テキスト、教材				
		A4版1枚に資料を配布				
参考書		受講生へのメッセージ				
		講義は、分かりやすく、面白く、ためになることを目標に行なうので、受講生はまじめに講義に臨むことを期待する。				
キーワード						